

みちくさ いたずら こどものじかん

新山 裕之



りっとう

立冬（7日）… 裏庭の柿がおいしそうに色付いていきます …

柿は一年おきに実るのが一般的ですが、ここ数年、裏庭の柿は毎年おいしい実りを届けてくれています。先日の樹木剪定の業者さんによれば、収穫の際に枝の剪定がうまくできているからではないかとのことでした。今年の収穫はいつになるのでしょうか。楽しみに。

<地始凍 ち はじめてこおる 11月12日～16日>

立冬の次候は「地始凍」です。私が子どもの頃は、冬の寒い朝に庭や道路の脇に霜柱を見付けると、サクッと踏んで歩くことを楽しんでいました。東京で霜柱ができるほど寒さが厳しくなるのはもっと先になります。

<青南親子フェスタ、大成功！>

今年は、全体で行う運動会の代わりに、かけっこやリレー、ダンスや親子の触れ合い遊びに限定した親子フェスタを学年ごとに開催しました。この親子フェスタは、青南小学校の皆さんのご理解とご協力があったからこそ開催できたものです。授業や休み時間に小学生が使う場所ですから、事前に希望日や時間のリストをお届けして調整してもらいました。使える日にちや時間などを確認した上で、園も人的配置を調整して練習を積み重ねて当日を迎えました。

<異学年の交流もあちこちで>

青南小学校の関校長先生は、年長児の親子フェスタを参観してくださり、リレーでピブスを付ける際には手伝いまでしていただきました。ありがとうございました。練習の段階から晴天の日が続き、年少児を年長や年中児が連れて行くこともありました。当日は一緒にはできませんでしたが、移動の際に年下の子に優しく声を掛ける姿やフェスタの前にお互いのダンスを見合ったり踊り合ったりする姿もあり、うれしい育ちがあちこちで数多く見られた日々でした。

<親子の触れ合いは、これを機にご家庭でも！>

どの学年もフェスタの最後は、親子で一緒に楽しむ触れ合い遊びを取り入れました。年長組、年中組はその前後に保護者の皆さんのすてきな企画も加わって、親子で触れ合う時間が一層楽しいものになりました。コロナ禍の今だからこそ、このようなスキンシップは、親子の絆を深めるためにも欠くことができないものです。これを機に、ぜひ家庭でも折に触れて触れ合い遊びを楽しんでほしいと思います。



リレーの前にチームごとに作戦会議



あれ、どこかで見たことがある人が・・・



年長組親子は、手をつないでにっこり



年中組も、親子みんなで輪になって



年少組は、先生たちの動きをまねして親子と一緒に遊園地



親子のスキンシップは本当の遊園地よりも楽しいアトラクション



リーダーの動きをまねして動くとき自然とみんなの動きが揃って楽しい！